

キーワードで完ぺき 

歯科衛生士国家試験

新
出題基準
準拠

直前マスター 歯科保健指導！

歯科衛生士国試問題研究会 編



赤い
チェックシート
付き

医歯薬出版株式会社



口腔保健に関する情報と収集

対象者のニーズの把握 ★

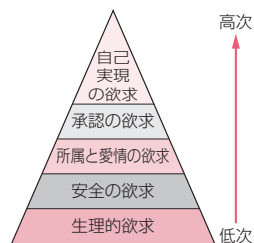
- ・対象者（患者および健康な人々）の問題は必ずしも治療や歯石除去，口腔清掃だけでは解決できない。
- ・対象者それぞれの本当のニーズ（**ヒューマンニーズ**）を把握する。
- ・「マズローの欲求階層理論」や「DarbyとWalshのヒューマンニーズ概念モデル」にあてはめると有効である。

マズローの欲求階層理論

- ・人間の欲求を低次から高次の順で分類した。

DarbyとWalshのヒューマンニーズ概念モデル

- ・歯科衛生に関連した対象者のニーズを把握するための理論的枠組み
- ・「対象者」，「環境」，「健康と口腔衛生」，「歯科衛生活動」の4つの概念を理解しておく必要がある。



マズローの欲求階層理論

歯科衛生過程の概要 ★★★

- ・対象者（患者および健康な人々）の問題
⇒必ずしも治療や歯石除去，口腔清掃だけでは解決できない。
- ・対象者に応じた多種多様なニーズや問題を解決するためには？



歯科衛生過程⇒科学的根拠をもとに歯科衛生業務を展開するためのツール

- ・目的：対象者にとって必要な**歯科衛生介入**を考え，医療従事者全員で情報共有し適切な歯科衛生介入を継続して行う。

歯科衛生過程の5つのプロセス ★★★

問題把握	① 歯科衛生アセスメント
	② 歯科衛生診断
実行	③ 歯科衛生計画立案
	④ 歯科衛生介入
振り返り	⑤ 歯科衛生評価
	すべてのプロセスで 書面化

実力完成問題

問 高齢者の虐待が疑われる場合の通報場所はどれか。

- a 児童相談所
- b 配偶者暴力支援センター
- c 市町村障害者虐待防止センター
- d 市町村または地域包括支援センター

★ポイント

虐待が疑われる場合の通報場所 ★

歯科検診や治療の際に、虐待が疑われるケースがあります。対象者もさまざまで、口腔内外の外傷や多発性う蝕や未処置歯の放置などから虐待の早期発見をすることも医療従事者の務めといえます。異常を発見した際に、事情を確認するのも当事者である場合もあり、患者本人だけでなく、保護者や介護者に対しても十分な配慮が必要です。

対 象	関連法規	通報場所
児 童	児童の虐待防止等に関する法律	児童相談所
障害者	障害者虐待防止法	市町村障害者虐待防止センター
高齢者	高齢者虐待防止法	市町村窓口、地域包括支援センター
配偶者	DV防止及び被害者の保護に関する法律	配偶者暴力相談支援センター、警察

※ DV（ドメスティック・バイオレンス）：親密な関係にあるパートナーからの暴力

★解答へのアプローチ

- a × 児童虐待の場合に通報する。
- b × 配偶者からのDVの場合に通報する。
- c × 障害者の場合に通報する。
- d ○



3章

口腔清掃指導法

口腔清掃指導法のポイント

この章では、口腔清掃に必要な清掃用具、清掃状態の把握、ライフステージや特別な配慮が必要な対象者に合わせた具体的な指導法についてあげられています。頻出される項目で、対象者に応じた清掃用具や、清掃方法の提案ができるか問われる内容となることもあります。そのためには、各種清掃用具の特徴や使用方法をしっかりと理解しておく必要があります。

また、口腔清掃に関する指数については、目的や特徴だけでなく計算方法も確認して実際に計算できるようにしておきましょう。





器質的口腔のケアと機能的口腔のケアを合わせて、口腔機能管理とよぶ場合もあります。

専門的口腔ケア

専門的口腔ケアの分類 ★★

分 類	概 要
器質的 口腔ケア	・ 口腔疾患と呼吸器感染の予防が主目的 ・ 細菌除去（プラークコントロール）として口腔清掃を中心とした内容 ・ ブラッシング、補助用具の活用、義歯の清掃、化学的プラークコントロール
機能的 口腔ケア	・ 口腔機能の維持・回復が主目的 ⇒廃用症候群・誤嚥性肺炎の予防、急性期後の早期経口摂取の促進 ・ 口腔筋機能療法（口腔のリハビリテーション）

口腔アセスメント ★

〈口腔アセスメント項目と診査基準の一例〉

診査項目	診査基準
口唇の乾燥	①なし ②あり
口腔粘膜の状況	①異常なし ②潰瘍・痂皮あり
口腔内の乾燥	①湿潤 ②乾燥
痰・分泌物の状況	①なし ②付着
舌苔の付着状況	①なし ②あり
食物残渣の状態	①なし ②付着
口臭	①なし ②あり
口腔内の出血	①なし ②あり